

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
平成 30 年 6 月 19 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 東京都渋谷区代々木三丁目 22 番 7 号	
氏 名 ファイザー・ファーマ株式会社	
代表取締役社長 伊藤 雅彦	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-5309-7000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	ファイザー・ファーマ株式会社 名古屋工場
事業場の所在 地	愛知県知多郡武豊町字五号地 2 番地
計画期 間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	16 ：化学工業
②事業の規 模	製造品出荷額（平成 29 年度）：2,606 億円
③従業員 数	800 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 産業廃棄物管理責任者 エンジニアリング部長 中川 俊樹 └─ 特別管理産業廃棄物管理責任者 エンジニアリング部 動力・環境グループ課長 水本耕作 └─ 産業廃棄物処理施設管理者 エンジニアリング部 動力・環境グループ課長 水本耕作 └─ #230 汚泥脱水施設技術管理者 代表取締役社長 伊藤雅彦		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
1 現状	前年度（平成 29 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出 量	
	（これまでに実施した取組） 工程改善によって発生する産業廃棄物の量を削減した。	
2 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出 量	
	（今後実施する予定の取組） 継続した工程改善によって発生する産業廃棄物の量を削減する。 精製工程での収率向上	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引火性廃油、有害廃油、感染性廃棄物、有害汚泥に分別。廃溶剤	

		は再利用しやすいように、物質の種類、濃度で細かく分別している。
	② 計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新規製造品の製造開始の度に廃棄物の最適な分別方法を検討していく。

（第3面）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	
	（これまでに実施した取組）	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	予定なし
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	
	（今後実施する予定の取組）	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	
（これまでに実施した取組）		

② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	予定なし
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし
	自ら埋立処 分を行 つ た 特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	予定なし
	自ら埋立処 分を行 う 特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

1	現状	【前年度（平成 29 年度）実績】	
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
		全処理委託 量	
		優良認定処理業者への 処理委託 量	
		再生利用業者への 処理委託 量	
		認定熱回収業者への 処理委託 量	
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	
		（これまでに実施した取組） 再生利用業者への処理委託を継続して検討してきた。	

（第 5 面）

②計画		【目標】	
		特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
		全処理委託 量	
		優良認定処理業者への 処理委託 量	
		再生利用業者への 処理委託 量	
		認定熱回収業者への 処理委託 量	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	

		(今後実施する予定の取組) 優良認定または認定熱回収業者を優先に処理委託をする。
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が 50 トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分にに関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の種類	処理の工程
引火性廃油（廃溶剤等）	・ 中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分 ・ 再生処理業者に委託して溶剤または燃料として再資源化
特定有害廃油 （塩素系廃溶剤等）	・ 中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
有害汚泥（廃試薬等）	・ 中間処理業者に委託して焼却後、路盤材として再資源化
感染性廃棄物 （医務室廃棄物等）	・ 中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃酸（腐食性廃酸等）	・ 中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃アルカリ（洗浄剤等）	・ 中間処理業者に委託して中和

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	前年度（平成 29 年度）実績 排出量(t /年)	目標 排出量(t /年)
引火性廃油（廃溶剤等）	486.5	480
特定有害廃油 （塩素系廃溶剤等）	1.6	3
有害汚泥（廃試薬等）	0.9	1
感染性廃棄物 （医務室廃棄物等）	0.2	1
廃酸（腐食性廃酸等）	0.3	1
廃アルカリ（洗浄剤等）	11.9	2
（これまでに実施した取組） ・ 工程改善によって発生する産業廃棄物の量を削減した。		
（今後実施する予定の取組） ・ 継続した工程改善によって発生する産業廃棄物の量を削減する。 精製工程での収率向上		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
引火性廃油（廃溶剤等）	486.5	127.9	455.3	31.1	0.1
特定有害廃油 （塩素系廃溶剤等）	1.6	1.6	0.8	0.8	0
有害汚泥（廃試薬等）	0.9	0	0	0	0.9
感染性廃棄物 （医務室廃棄物等）	0.2	0.2	0	0.2	0
廃酸（腐食性廃酸等）	0.3	0.1	0.3	0.1	0
廃アルカリ（洗浄剤等）	11.9	11.9	0	0	0
（これまでに実施した取組） ・再生利用業者への処理委託を継続して検討してきた。					

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
引火性廃油（廃溶剤等）	480	130	450	30	0
特定有害廃油 （塩素系廃溶剤等）	3	3	2	1	0
有害汚泥（廃試薬等）	1	1	0	1	0
感染性廃棄物 （医務室廃棄物等）	1	1	0	1	0
廃酸（腐食性廃酸等）	1	1	0	1	0
廃アルカリ（洗浄剤等）	2	2	0	2	0
（今後実施する予定の取組） ・優良認定または認定熱回収業者を優先に処理委託をする。					